

# ストリングのいろいろ ～種類・構造編～

## ナチュラルガット

- ◆ナイロングットと打ち比べてみると、はるかに打球感が良い！
- ◆張り上げてからの伸びが遅く、ナイロンに比べると倍の保持力（使用の度合いやフリースタイルにもよります）
- ◆牛の腸という天然繊維ならではの弾力性から生まれる柔らかい打球感、反発性、ホールド感、振動吸収性、テンション維持力といった全ての特性に優れ、トータルな性能においては抜群です！！
- ◆肘や手首に優しい。

## ナイロン（シンセティック） モノフィラメント構造/マルチフィラメント構造

- ◆低価格。構造の違いにより、『モノフィラメント構造』『マルチフィラメント構造』の2種類に分けられます。
- ◆フリースタイルに合わせて様々なタイプのものが作られています（詳しい構造については『ストリングの構造』をご覧ください）
- ◆現在一般に広く普及しているのがこのタイプです。

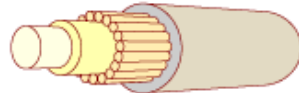
## ポリエステル（シンセティック） 単純モノ構造

- ◆打球感が硬く、反発力が低いので、飛びを抑えることができ、コントロール性が高まります。
- ◆打ち応えがありスピンも良くかかります。ハードヒッター向けのストリングです。
- ◆しかし、ストリングが硬く、振動が多いため手首や肘に負担がかかるので、不安のある方は避けたほうがいいでしょう。
- ◆グランドスラムではフロの約60%がポリエステルを使用。錦織選手も2009年よりアルパワー・フローロにチェンジしました。

## ストリングの構造

### モノフィラメント

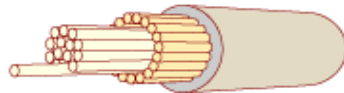
↓ 中に太い芯がある



- ◆耐久性がある
- ◆弾いて打ちたい方にオススメ
- ◆低価格

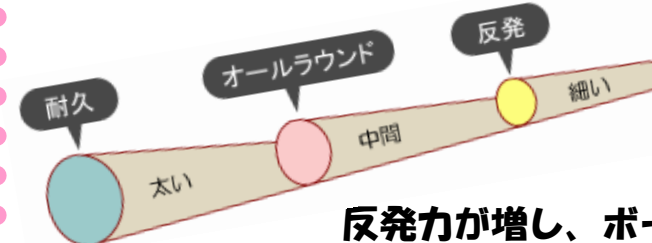
### マルチフィラメント

↓ 細い芯が束になっている



- ◆モノフィラメントに比べ、打球感がやわらかい
- ◆ナチュラルに近い心地よい打球感
- ◆肘・手首に優しい

## ストリングの太さ



耐久性だけでなく、打球感や反発性（伸び）も変わってくるので、重要なポイントです。

細いもの

反発力が増し、ボールの伸び・喰いつきがよくなる

太いもの

反発力は弱まるが、耐久性アップ。ホールド感が高まり、コントロール性アップ

中間の太さ

オールラウンド。まずはこれを使ってみましょう。反発性が欲しいと感じたら細めに、切れやすいと感じた場合は少し太いものに変えてみるなどの判断基準として選びやすくなります。不満を感じなければ、材質や構造の違うガットを試し、自分に合ったガットを探しましょう。